

授業科目	身体適応学	2 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	山田崇史 (保健医療学研究棟 E407 号) e-mail : takashi.yamada1976@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、岩本えりか、根木亨		
概要	様々な物理刺激ならびに運動刺激が身体に及ぼす生理反応や身体適応の基礎について学習する。これらの包括的な理解は、理学療法の中核的役割を担う運動療法を科学的に治療手段として適用するうえで不可欠である。当該科目では、適切な運動療法を実施するために必要な基礎理論ならびに基本的な治療技術について学ぶ。		
到達目標	1. 運動療法における基礎理論を説明することができる。 2. 種々の疾患、障がい者に対する運動の効果の説明ができる。 3. 種々の疾患、障がい者に対する効果的な運動療法を立案することができる。		
関連科目	運動生理学、物理療法学、運動器障害理学療法学、神経障害理学療法学、内部障害理学療法学、発達障害理学療法学、高齢者理学療法学		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	筆記試験	60%	
	レポート	40%	
教科書	①市橋則明 編 [2014 年] 「運動療法学(第2 版)」 文光堂 ②日本体力医学会体力科学編集委員会 監訳 [2002 年] 「運動処方指針(原書第8 版)」 南江堂		
参考書	①奈良勲 編集 [2002 年] 「運動処方マニュアル」 文光堂		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	運動療法の意義、運動処方の基礎	事前：運動生理学の復習	講義	山田
2	演習①リスク管理(運動中止基準、安静時・運動時の血圧測定)	事前：運動生理学の復習	講義・演習	岩本・根木
3	演習②最大下運動負荷試験	事前：運動生理学の復習	演習	山田
4	演習③基本的な運動処方の実践	事前：運動生理学の復習	〃	〃
5	筋力強化運動の基礎	事前：これまでの学習の復習	講義	〃
6	演習④筋力強化を目的とした運動療法の立案	事前：運動生理学の復習	演習	〃
7	演習⑤筋力強化を目的とした運動療法の実践	事前：解剖学、運動学の復習	〃	〃
8	運動負荷試験の基礎・データの解釈	事前：解剖学、運動学の復習	講義	岩本
9	演習⑥運動時の呼気ガス分析・最大酸素摂取量の測定	事前：解剖学、運動学の復習	演習	岩本・根木
10	演習⑦運動時の呼気ガス分析・最大酸素摂取量の測定	事前：運動生理学の復習	〃	〃

11	呼吸循環機能の向上を目的とした運動処方	事前：解剖学, 生理学の復習	講義	岩本
12	脳卒中片麻痺に対する運動の効果	事前：これまでの学習の復習	〃	菅原
13	演習⑧末梢神経刺激を用いた電気生理学的測定	事前：生理学の復習	演習	〃
14	演習⑨中枢神経刺激を用いた電気生理学的測定	事前：運動学の復習	〃	〃
15	ロコモティブ症候群に対する運動の効果	事前：これまでの学習の復習	講義	山田